

横浜市就労訓練事業支援センター

# Newsletter

Vol.21

2025年1月

発行責任者  
横浜市就労訓練事業支援センター  
所長 熊部良子  
☎045-290-7239  
✉ shien-center@youthport.jp

## 新年のご挨拶

旧年中は格別のご厚誼を賜り、誠にありがとうございました。  
詳細は下記に記載しておりますが、2024年11月に開催された第11回生活困窮自立支援全国研究交流大会に参加いたしました。各地の就労訓練に携わる関係者と意見交換を重ねる中で、地域ごとの課題の違いを認識するとともに、改めて横浜市における就労訓練の充実ぶりを再確認いたしました。これも、就労訓練にご協力いただいている事業所様のおかげと深く感謝しております。

また、同じく11月に実施した就労訓練事業交流会においては、認定事業所の皆さまと区生活支援課の支援員の皆さまによる活気あるグループトークを拝聴し、就労訓練に対する関心の高さや熱意を改めて実感いたしました。今後も、貴重な訓練の機会を最大限に活かし、地域共生社会の輪を広げていけるよう、さらに精進してまいります。  
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

横浜市就労訓練事業支援センター  
所長 熊部 良子



## 生活困窮者自立支援全国研究交流大会に登壇しました

当センターの運営団体であるユースポート横浜は、第11回生活困窮者自立支援全国交流大会（愛知県東海市）の分科会企画に応募し、2024年11月10日に開催された分科会「就労訓練事業を切り口に就労支援の質を高める」にリーダーの津田が登壇しました。本大会は、現場の支援者や厚生労働省、自治体の担当者、研究者などが制度や実践を学び、交流する機会として年に1回開催されています。



分科会では、生活困窮者自立支援制度の就労支援メニューの低調、特に就労訓練の件数が少ない現状について、北海道釧路市や秋田県藤里町の支援者と意見交換を行いました。

就労訓練における実際の職場や地域での訓練提供、就労や福祉など個々の状況に合った進路につながる意義、交通費や奨励金がないこと、他事業との使い分けなどの課題も踏まえ、地域と連携した支援体制の構築や就労支援スキルの向上にむけた取り組みの必要性を共有しました。今後も積極的に発信や提言を行い、より良い就労訓練事業の在り方を模索してまいります。

# 就労訓練事業交流会を実施しました

2024年11月14日（木）、神奈川中小企業センタービル多目的ホールにて「就労訓練事業交流会」を開催しました。当日は、総勢51名の参加者にお集まりいただき、活発な意見交換を通じて交流を深める貴重な機会となりました。

ご参加いただいた方々

- ・ 認定就労訓練事業所様：24名
- ・ 区生活支援課の支援員の皆さま：22名
- ・ 横浜市健康福祉局／厚生労働省他：5名

第一部では、五光発條株式会社様と救護施設岡野福祉会館様におけるケースを紹介しました。認定事業所の方々や区生活支援課の支援員の方々からも貴重なコメントをいただき、ケース理解を深めることができました。

第二部では、認定事業所の方々や区生活支援課の支援員の方々が一緒になり、グループに分かれて就労訓練事業についての意見交換を行いました。



## グループトークの様子（一例）



区生活支援課

ちょっと困ってしまう訓練生はどんな人ですか？

あまりないですよ。訓練に来ることができたら、コミュニケーションや仕事のスキルは職場で指導できます

就労訓練を利用するハードルが下がりました！



認定就労訓練事業所

## 認定事業所の皆さんからのご意見・ご感想（一例）

### 【気づき】

訓練内容を考え、伝えるためにマニュアルを作成する過程で、自分たちの業務を整理する機会となった。訓練者にどのように伝えるかを考えることで、自分たちも成長につながる、また訓練者の表情の変化にやりがいを感じるなど、双方で価値が見いだされるため、就労訓練事業が継続できるのだと思った。

### 【悩み・心配】

一般就労を目指すことを踏まえると、身だしなみなどについて注意すべき点があった場合、どのように声掛けをすべきか悩む。その注意がきっかけとなり就労訓練を中止してしまうのではないかと心配である。

### 【ご要望・提言】

訓練における業務の切り出しをどのように実施したかを具体的にアピールすれば、一般企業における認定事業所の数が増えるだろう。

訓練後の訓練者の様子を知ることができれば、訓練内容が有意義だったのか、対応に問題がなかったのかを振り返ることができる。

## 区支援員の皆さんからのご意見・ご感想（一例）

### 【気づき】

福祉施設から一般企業まで、認定事業所の種類が多岐にわたり、多様な訓練が提供されていることが分かった。

就労訓練では、訓練者の生活歴を把握し、その上で配慮がなされているなどが分かり、安心感を得た。

実際に訓練の様子を聞いたことで、今後の就労訓練の提案がしやすくなった。

「訓練者のやりたい気持ちが一番大切」という話を聞き、モチベーションに関する支援の重要性を改めて実感した。

訓練をすることで、訓練者にとって相談する窓口が複数できるということも、非常に意義があると感じた。

### 【悩み】

訓練につなげるのがなかなか難しい。特にプライドが高い方に対して、どのような声掛けをして就労訓練につなげるかが課題である。

### 【ご要望】

認定事業所がある地域が偏っているため、地域ごとにバランスよくあれば、提案がしやすくなる。

交流会を通じて、就労訓練事業は単に訓練を行う、受けるだけでなく、双方向で価値を生み出し、地域でのつながりや支え合いにおいて重要な役割を果たしていることを再確認いたしました。いただいた貴重なご意見を参考に、今後もより良い就労訓練事業の運営に努めてまいります。